



床板をはがさず硝石を取る図（「硝石精練法」より）

硝石を得るため、人の住んでいる古い家の床下の土を集めて水に浸し、溶け出した成分を煮詰めて硝石を精製した。床の下には、隙間から落ちた人体の垢や皮膚の粉が溜まっており、また犬猫の糞などもあって、窒素分が長年のうちに土中のカリウムと化合して、わずかながら硝酸カリウムができていた。これを水に混ぜることで水に溶け出させた。そこから硝石を取り出すためには、大量の木灰を必要とした。勝山藩では、この木灰を町・郷から集めて購

火薬の原料として必要なものは、天然にある硝石に硫黄・木炭などを混合したものである。これは酸化剤として用い、混合率（黒色火薬）は硝石七四・五%、硫黄二・五%、木炭粉末一三%である。硫黄は容易に購入できるが、硝石は日本では手に入らないため、勝山藩では信州松本に在定蔵なる者を雇い、硝石（白焰と呼んでいた）出来高一斤当たり三匁六分宛てで契約していた。

# 歴史の散歩道 (144)

勝山藩では火薬も造っていた  
〜大砲シリーズ2〜

入した。安政二年（一八五五）四月から十月までに一七〇九貫、代金七四六匁余を支払っている。乾与一家文書「焰硝・硝石・硫黄・鉄砲玉之類改帳」(文久三年一八六三二月十三日 御武器方)によると、硝石の製造は、勝山藩内では細野口村・谷村・松村嘉兵衛小屋（浄敬寺近くの河原）・長淵端小屋・平泉寺村・赤尾村・郡村で行われ、火災の危険を伴うため集落・町屋から離れて設置されていた。安政五年（一八五八）の製造量は、細野口「硝石二箱 此の斤一〇四斤半（六一・七kg）」、松村小屋「一七五斤（七〇・五kg）」などであった。他にも「安政二年十二月寅卯二ヶ年煎煉白焰諸入用帳」に、出陣や訓練に当たって運び出されている量が記されている。

勝山城博物館では、平成十年に当時の松村館長・杉本学芸員・伊藤俊一氏が、実際に浄願寺の古土を採集して実験し、その結果、少量ながら硝石を抽出して火薬製造に成功している。加賀藩では、「越中五箇山」で干し草と土の混合物に、魚のあらや糞尿などを入れて腐らせた水をかけて硝土を造る方法が実用化され、毎年藩に納められていた（資料館があり、見学できる）。

文化財保護委員 増田公輔



## 勝山左義長まつり 絵行燈用川柳を全国公募します

昨今の世間の話題、政治や社会問題、吉祥干支にちなんだ川柳を募集します。（自作未発表作品に限ります）

応募規定▶ハガキまたは所定の応募用紙に住所・氏名・電話番号等を記入し、下記までご応募ください（メール可）

応募先▶〒911-8501 勝山市元町1丁目1-1

勝山市役所 観光政策課 宛

メール：kankou@city.katsuyama.lg.jp

応募締切▶平成25年1月10日（木）（消印有効）

その他▶入賞作品の著作権は、主催者に帰属します

※入賞作品は、地元の絵行燈専門家が作品に沿った絵を描いて絵行燈を作成し、左義長まつりで発表します

申・問 勝山左義長まつり実行委員会

（観光政策課内）☎88-8117

### 勝山市内の地層めぐり

勝山市内の手取層群より新しい地層（中世代以降の地層）を巡り、講師から説明をいただきます。

と き▶11月18日（日）  
午後1時～5時（雨天中止）

集 合▶市役所裏

行き先▶北谷町杉山、平泉寺町大矢谷 他

講 師▶福井市自然史博物館  
館長 吉澤 康暢 氏

定 員▶20人（先着順）

費 用▶100円（保険代）

準備物▶山登りができる服装

申込締切▶11月14日（水）

問 未来創造課（市役所2階）☎88-1115

### 陸上自衛隊第10音楽隊 クリスマスコンサート

と き▶12月8日（土）  
開場 午後6時  
開演 午後6時30分

ところ▶市民会館 大ホール

費 用▶無料（要整理券）

整理券取扱先▶市役所・各公民館・すこやか

整理券配布開始日▶11月27日（火）

問 総務課（市役所2階）☎88-1116

## 11月17日（土）開催！ ぶらり勝山まちなかフェスタ

### 勝山市民活動ネットワーク祭り

～昭和のまち物語～

と き▶午前10時～午後4時

ところ▶市民活動センター

および周辺

内 容▶かっちゃまHUB公開放送

オールドカーの展示

ミニ緑日広場

かつやま土曜夕市による

ふるまい汁 他

問 市民活動センター ☎87-1011



### B1グランプリメニューがやって来る！ 軽トラ市&B級グルメ祭り

B級グルメや地元名物グルメが大集合！  
季節野菜や雑貨などの販売も行われます。

と き▶午前9時～午後4時

ところ▶市役所駐車場

出 店▶横手やきそば

大阪鶴橋ホルモン

浜松餃子 他

問 勝山商工会議所

☎88-0463



### 一般図書

「教科書が教えない領土問題 国境の島を発見した日本人の物語」  
藤岡 信勝／共著 祥伝社

誰が、いつ、その島を見つけ「先占」したのか。竹島、尖閣諸島、小笠原諸島、南鳥島など7つの国境の島を取り上げ、それを発見した日本人の足跡、その島が日本領となった経過をたどる。

### 中高生図書

「きみスキ」  
梨屋 アリエ／著 ポプラ社

それぞれの秘めた思いを知ったり、意外な一面を見たり…。高校生の男女7人の日常・悩み・恋を描いた連作掌編小説集。ウェブマガジン『ポプラビーチ』連載に加筆修正して単行本化。

### おすすめ図書

### こども図書

「ぼくのママは うんてんし」  
おおとも やすお／さく 福音館書店

のぞむのママは電車の運転士。パパは病院に勤める看護師。「運転中は前をしっかりと見て、どんな小さなことを見逃さない」と聞いたのぞむは、ママの誕生日に電車に向かって旗を振ることを思いついた。ところが、当日きょうに、ざんざんぶりの雨がふりだしてしまい…。

## 11月10日（土）・11日（日）地下書庫を開放します！

地下書庫には約6万冊の図書を所蔵しています。

普段は一般に公開していませんが、この2日間は文学作品（一般書）ならびに児童書を自由に閲覧・貸し出しをすることができます。この機会にぜひご来場ください。

問 市立図書館 ☎88-6000

Web ホームページ <http://tosyokan.city.katsuyama.fukui.jp/>